平成25年度 杉森中学校 第7回学校運営協議会 会議録

日時　平成 25 年度 12 月 12 日(水)17 時 00 分～　18 時 30 分

会場　杉森中学校　会議室

出席者

《協議会委員》　高﨑　彰
大川　洋
安藤　雄太
由井　営太郎
大熊　康子
國藤　久司

大橋　亮介(校長)

《杉森中学校事務局》

加藤　雄一(進路指導主幹)
ｼｭﾃｨｰﾍﾞﾘﾝｸﾞ育子(教務主任)
松尾　宏(生活指導主任)
長谷川　祐子(嘱託事務)

《杉森中学校 PTA》
会長　向笠　佐奈江

会　　長　　今日は土曜授業について話し合いたいと思います。以前から週 5 日制の土曜日には、部活をしないという地域もありましたね。丁寧に話し合っていきましょう。

校　　長　　11 月 30 日に杉森祭がありました。中学生も小学生もとても良い雰囲気でした。地域の方にも評判がよかったです。皆優しく小学生をもてなしていました。

『和紙キャンドルナイト』のお手伝いボランティアにも参加してくれました。

本校の第一回卒業生の方にも声をかけていただき、地域の方からも褒めていただきました。「税の作文コンクール」では 3 名が優秀賞をいただきました。

今年は校内・校外の活躍が多い年でした。生徒本人はもちろんのこと、日ごろの先生方の指導の成果だと思います。

8 日の駅伝では、女子はたすきを繋ぎ、15 位と健闘。男子は最後のトラックで 2 位と 3 位が激しくデットヒートを繰り広げ、本校が準優勝しました。

1 年生が胸をはって、とてもかっこよくゴールしてくれました。サポートにまわった生徒も一生懸命に応援してくれました。

男子は区間賞もいただきました。

教務主任　　学校内部評価ですが、昨年のものをもとに作りました。1 月の行事予定をお配りしました。7 日までが冬季休業日です。14 日から校内書初展があります。

23 日から 2 年生のスキー移動教室です。私立の推薦出願や都立の推薦入試もあります。

生活指導主任　　12 月もあと少しです。交通事故・ネットでの事故などの注意をしました。子供だけではなく、保護者の規範意識が必要なのではないか。向上するように話しをしたいと思っています。

Ａ委員　　規範意識の向上というお話ですが、保護者の方も具体的にどういうことがありますか?

生活指導主任　　生徒たちについて言えば、公共の場での基本的な行い、下校時に道に広がらない、集合時間に遅れないようにするという事です。

保護者について言えば保護者会でおしゃべりをしたり、話しをする時にガムをかんでいる…といったことです。

生徒も保護者もあらためて規範意識の低下に気づいてほしいと思います。話しをしていく必要がありますね。

進路指導主任　　12 月第 1 週に 3 年生の面談が終わり、内申の伝達をしました。
今年度は、3 年生の男子 61 名女子 52 名の計 113 名が進学予定です。
そのうち男子 33 名女子 25 名が、都立高校を希望しています。約半数が都立高校を希望しているということです。男子 19 名女子 15 名が私立を第一にしています。今週末から私立入試相談会がはじまります。

Ｂ委員　　未決定者 1 となっていますが。

進路指導主任　　面談をしながら、保護者を含めて、具体的に高校を決めているところです。

Ｃ委員　　他の学校と比べてどうなんでしょうか。

進路指導主任　　7 月の段階で提出したものは、非常に目標が高く設定されていました。チャレンジ校を挙げてくる生徒が多かったですね。でも現実的には厳しいものがあるので、総合的に考えながら、考えなくてはならないという事を話し、保護者を交えて話し合うようにしています。土日に高校見学をして十分に吟味してもらようにしています。

Ｃ委員　　自由に高校を選べるようになったことで、先生方も大変ですか?

進路指導主任　　数多くいろいろな地域から選べるので良いと思います。できるだけたくさん見学にいってほしいですね。

会　　長　　では、協議事項に入ります。土曜授業についてですが。

校　　長　　前回にお知らせしたとおり月 1～2 回程度、行事を含めて 3 回まで。地域・保護者の方にご協力いただきながら、連携をとって進めていくことになります。外部人事を入れた授業を行うため、支援本部にコーディネイトしていただくということもあると思います。

区教委では、大学生や高校生との活動も視野に入れていくことも提示しています。月に 1 回は基本方針通りの授業、1 回は学校公開にすることも可能です。行事である運動会や合唱コンクールを土曜授業にすることも可能です。

また総合的な学習の授業ということでは、本校は毎年 ESS(English Summer School)を行っていますが、国際理解ということでとても良い結果が出ていると思っています。英語の楽しさを知ってほしい、映画や音楽を英語で楽しめればもっといいのではということで、土曜授業に取り入れるのはどうだろうと思っています。

教師に負担をかけないように外部の教師を頼みたいと思います。学年単位でやるか、学級単位でやるかも考えなくてはいけません。

Ｃ委員　　国際理解ということで、私たちにもなにかアドバイスできることがあればよいのですが。

ここまでで何かご質問はありますか。

Ａ委員　　先生方の出勤体制は?

校　　長　　土曜日は半日勤務、半日は週休日変更になります。しかし部活などもありますし、実際に休みがとれるかは厳しいものがあるとは思います。

Ａ委員　　最近は先生方の勤務時間が増えて、どこでも先生方が疲れて見えると大学の学生が言っていました。その影響か教職員志願者が少なくなってきました。

会　　長　　英語教育に関してご意見があれば…。

Ｂ委員　　受験英語ではなく、実際に使えるような英語の授業になるとよいですね。就職でも、海外の人が日本人に勝って良い就職をしてしまうということも起こっています。母国語も英語も日本語も話せるという人が就職しているという現実があります。日本語だけしかしゃべれない日本人…。受験英語がすべて悪いというのではないんですけれど…。

校　　長　　7年後のオリンピックに向けて積極的に関われる子どもを作るという事が教育長からも話しがありました。

司　　会　　小中一貫についてはいかがでしょうか?

校　　長　　9年間の連続性。教員同士が知り合う、分かり合うという事を生かして生きたい。年3回連絡会や分科会を開催しています。

実践報告を地域に発信しています。「すぎすぎ通信」を発行しています。

また杉森中・杉一小・馬橋小の3校の学校司書が連携を図って、「心にとどくブックガイド～杉森中学校地区　本のかけはし～」というパンフレットを作ってくれました。小学校高学年から中学校にむけて、物語や詩、科学の分野の本など色々な種類の本を紹介してく予定です。3校どの学校でも手に取れるように同じ本を準備しています。

小中の連携は、行事交流はなかなか難しいものがあります。3校間の距離があり、移動するだけで時間がかかってしまうなど、問題点はありますね。

体育祭での小学生綱引きや、こちらか運動会にお手伝いに出向いたり、できることはやっていきたいと思っています。

カリキュラム・生活指導は同じスタンスで、小学校できちんと指導され中学校に上がってきてもらうという流れになるのが理想的ですね。

始業式などそろえられるものはそろえていくことになると思います。

Ａ委員　　授業の連携ねらい、成果というものは?

校　　長　　阿佐中と杉七は小学校から小学生が中学校にきて、TTとして参加しているようです。高円寺中と杉四も、小学校から児童が勉強しに来ているようです。中一ギャップを防ぐことと、教師の技術力・指導力が高まるのではないでしょうか。三鷹小中などは、隣接校同士、行き来して教師の専門をいかしてTTに参加しているようです。

Ｃ委員　　小学校の英語授業は中・高からすると少し批判的ではないですか?小学校での授業を見ておく必要がありますね。何か土曜授業に役立つアドバイスができるかもしれません。

校　　長　　ぜひ来ていただきたいと思います。

司　　会　　広報誌についてはいかがでしょう?

Ｃ委員　　土曜授業について、次回土曜日の過ごし方や国際理解として英語を入れるということについて、テーマにして座談会形式にして話し合っていきたいと思います。それをまとめたいと思っています。

校　　長　　学校関係者評価委員会の設置にあたり、学校運営委員会の委員以外から入っていただくということで、今日は PTA 会長の向笠さんに来ていただいています。学校評価の目的として、学校教育の状況を把握して目的が達成されているか、改善点は何かということを調査していくということです。

学校独自の 27 項目の評価を今年は実施します。評価結果・改善策も提案させていただきます。

評価報告として、文書にし総括は 2 月に出します。1 月末にある程度の総括をする予定です。今年は学校独自のものを加えたので、意見がたくさん出るのではないでしょうか。

では今日は終わります。